

中学校英語 「指導と評価の一体化」

# テスト改善ハンドブック



2.0



本ハンドブックでは、テスト改善に向けての方向性を具体的な事例とともに示しています。

全国学力・学習状況調査の調査問題や結果から、各校の教科会で検討してきた足跡が分かるように、各事例を記載しています。テスト改善と同時に授業における言語活動の充実を目指していくことで、英語の授業における「指導と評価の一体化」を進めていきましょう。

※本ハンドブックは、平成 31 年度に作成されたテスト改善ハンドブック 1.0 を一部修正し、内容を追加したものです。

# Contents

## 1 外国語科の資質・能力を育成する授業に向けて

- (1)セルフチェックシート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2)逆算的な単元構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (3)生徒が英語を使って言語活動を行う授業へ・・・・・・・・ 4

## 2 評価が変わる 生徒が変わる・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

## 3 全国学力・学習状況調査の調査結果を活用した授業・テスト改善・・・・・・・・ 6

## 4 実践事例について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

- 1 「聞くこと ア」の「思考・判断・表現」を評価するテスト1(H31 作成)・・・・・・・・ 9
- 2 「聞くこと ア」の「思考・判断・表現」を評価するテスト2(R5作成)・・・・・・・・ 11
- 3 「読むこと イ」の「思考・判断・表現」を評価するテスト1(H31 作成)・・・・・・・・ 15
- 4 「読むこと イ」の「思考・判断・表現」を評価するテスト2(R5作成)・・・・・・・・ 17
- 5 「話すこと[やり取り] イ」の「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価するテスト(H31 作成)・20
- 6 「話すこと[発表] ウ」の「思考・判断・表現」を評価するテスト(R5作成)・・・・・・・・ 22
- 7 「書くこと イ」の3観点を評価するテスト(H31 作成)・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 8 「書くこと ウ」「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価するテスト(R5作成)・・・・ 27

# Ⅰ 外国語科の資質・能力を育成する授業に向けて

## (1)セルフチェックシート

学習指導要領で求められている資質・能力を育成するためには、授業をどのように改善していったらよいでしょうか。資質・能力を育成する授業に向けて、以下の1～10の項目で単元構想や授業、評価を振り返ってみましょう。

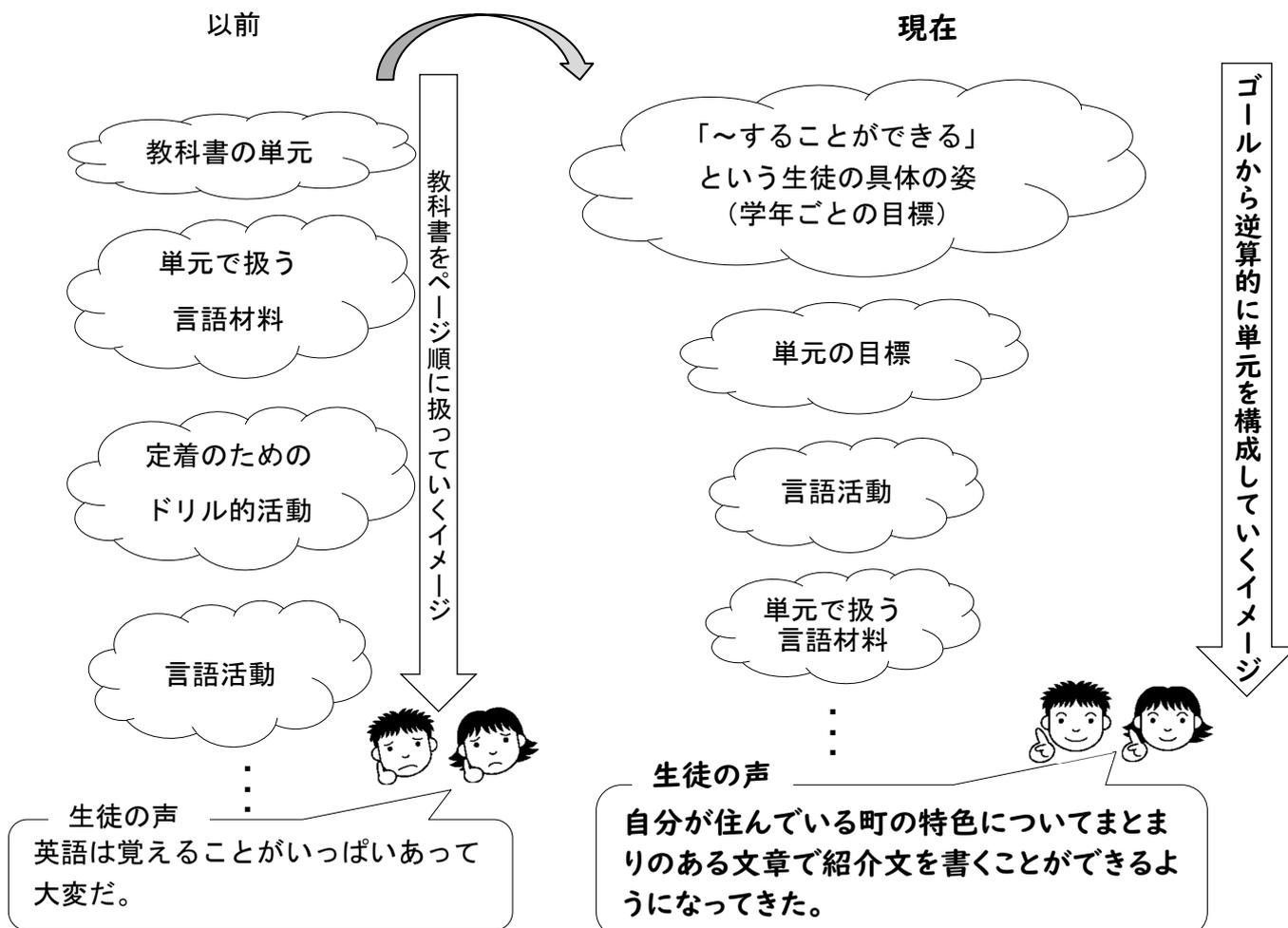
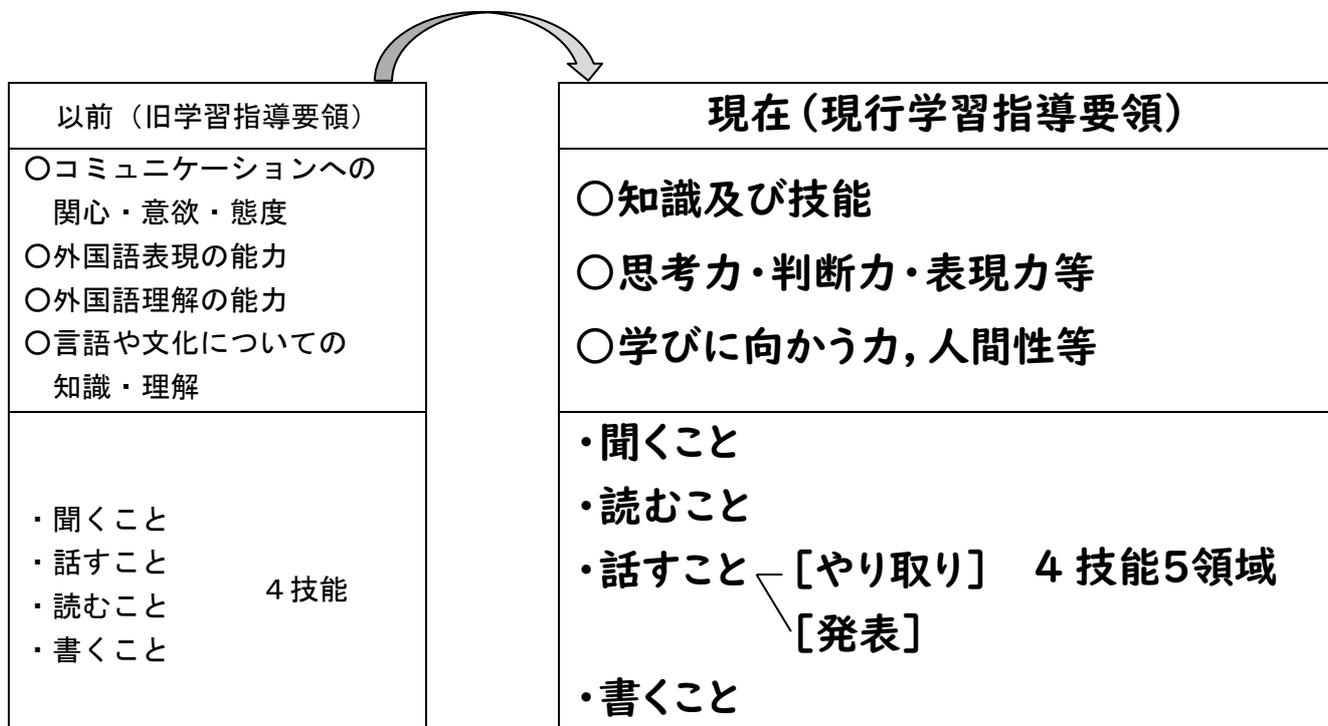
番号	目指す中学校英語授業と評価	セルフ チェック ◎○ △×
1	学校で CAN-DO リスト形式の「学年ごとの目標」を設定し、教科会の先生方と目指す生徒の姿を話し合っている。	
2	学校で CAN-DO リスト形式の「学年ごとの目標」を設定し、生徒と目指す姿を共有している。	
3	CAN-DO リスト形式の「学年ごとの目標」や単元の目標から、逆算して言語活動や教材の扱い方を工夫している。	
4	授業では、自分（教師）が解説や説明をしているだけではなく、生徒が英語を使う言語活動が授業の中心となっている。	
5	授業では、自分（教師）は発話をおおむね英語で行っている。	
6	生徒が活動をしているときに個々の様子を観察し、英語が得意な生徒や苦手な生徒等に対して、個に応じた指導をしている。	
7	「話すこと [やり取り]」の力を高めるために、Small Talk などの即興的な言語活動を普段の授業で実践している。	
8	テストを作成する時に、全国学力・学習状況調査の調査問題等を参考に、学習指導要領や「学年ごとの目標」を意識したテストを作ろうとしている。	
9	テストを作成する時に、「知識・技能」を評価する問題と「思考・判断・表現」を評価する問題とのバランスを考えて作ろうとしている。	
10	生徒の話すことや書くことの資質・能力を図るために、パフォーマンステストを年3回以上実施している。	

1～10の項目でのセルフチェックを基に、どのような授業や評価をしたらよいか同僚と話し合ってみましょう。

生徒の資質・能力の育成を目指すために、次ページ以降をヒントにしましょう。

## (2) 逆算的な単元構想

育成したい資質・能力や領域、単元構想について改めて確認してみましょう。



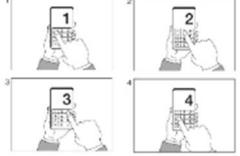
### (3) 生徒が英語を使って言語活動を行う授業へ

生徒の資質・能力の育成に向けて、生徒が言語活動を行い、英語を使いながら身に付けていくような授業にしていきたいと思います。

学習活動や留意点等	以前(旧)	現在(現行)
ウォーミングアップ	・形骸化した問答(日付や曜日の確認、形式的な Q&A を行う クリスマスなど)	<b>コミュニケーションのある授業</b> ・教室英語、Teacher Talk ・Small Talk、簡単なスピーチ
語彙指導	・新出単語の意味については対訳で暗記 ・新出単語の日本語訳をワークシートに記入	<b>生徒の気づきを促す語彙指導</b> ・語句と意味を知るだけではなく、聞いたり読んだりする中で意味を把握する活動 ・話したり書いたりする中で、その語句を使って表現する活動 ・受容語彙と発信語彙を意識した語彙を習得するための学習
言語活動	・リピート ・新出文型定着に向けた練習 ・ワークシートを見ながらのインタビューゲーム ・クラス全員で声をそろえて音読する等の一斉一律の練習活動 ・練習→練習→練習→言語活動という、知識の定着をしてから言語活動につなげるイメージ	<b>互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動</b> ・Small Talk、簡単なスピーチ ・日常的な話題について出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動 ・つまづいている生徒を支援しながら英語が得意な生徒を伸ばす個に応じた指導 ・言語活動→(必要に応じて理解・練習)→言語活動 ➡ <b>言語活動を通して、英語を使いながら身に付けていくイメージ</b>
文法指導	・1文だけのターゲットセンテンス提示 ・ドリル学習のみによる定着 ・文法用語を中心とした解説	<b>言語材料と言語活動を効果的に関連付けた文法指導</b> ・意味のある文脈で文法事項を提示 ・言語活動の繰り返し
話すこと [やり取り]	・黒板を見ながらの Q&A ・定型の対話文の暗記	<b>自分の考えや気持ちを整理して伝えたり、相手の考えを聞いて質問をしたりすることができるやり取りの指導</b> ・教科書題材に関するディスカッション
話すこと [発表]	・スピーチのための原稿作成 ・原稿を暗記したスピーチ	<b>即興で話すスピーチ</b> ・メモを基にした即興スピーチ
領域統合型の言語活動	・教科書を読んで感想を英語で1~2文で書く活動	<b>実際のコミュニケーションに近い言語活動</b> ・ALTからの伝言を聞きメッセージを書く活動 ・e-mail を読んで返信を書く活動
教師と生徒の英語使用率	・英語で指示をした後、日本語で補足説明	<b>「授業は英語で行うことを基本とする」</b> ・教師は授業の75%以上を英語で ・生徒の英語使用率の増加へ

## 2 評価が変わる 生徒が変わる テスト改善×授業改善=資質・能力の育成

「～できるようにする」という目標をもって授業で学習したことを評価するテストを作成するようにしましょう。

	以前（旧）	現在（現行）
リスニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードが聞き取れば答えられる問題</li> <li>・放送は2回繰り返し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「思考・判断・表現」を評価する問題 あなたは買物からの帰宅後、ショッピングセンターに傘を忘れたことに気が付きました。電話で問合せをしたところ、自動音声案内につながりました。流れてくる音声メッセージを聞き、あなたが選択すべき番号として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。</li> <li>・本物の状況に近い1回の放送</li> </ul>  <p>〔答え〕 3</p>
語彙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日英対訳型の問題 次の日本語を( )内のアルファベットから始まる英語にしなさい。 図書館→( 1 )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知識・技能」を評価するテスト 次の英文を読んで、( )内に入る最も適切な語(句)を、下の1から4までの中から1つ選びなさい。</li> </ul> <p>People go to ( ) when they want to borrow books. You can read books or study there.</p> <p>1 hospitals    2 libraries 3 book stores    4 restaurants    〔答え〕 2</p>
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語形変化問題 次の英文の( )の語を適切な形にしなさい。 I (see) Mike two years ago.</li> <li>・文の書き換え問題 次の英文を( )の指示に合うように書き換え、全文を書きなさい。 Mike ate breakfast this morning. (疑問文に)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知識・技能」を評価するテスト 例を参考にしながら、必要があれば( )内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、それぞれ会話が成り立つように英語を完成させなさい。</li> </ul> <p>(例) &lt;先生と生徒の会話&gt;</p> <p>A: Do you have any plans for summer vacation? B: Yes. I ( visit ) my uncle in London. I can't wait. A: Wow, that's nice.</p> <p>〔答え〕 am going to visit</p>
長文問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の教科書本文がそのまま出題されている長文問題</li> <li>・長文問題の中に語順並べ替えや語形変化が混在し、本文が正しく読み取れているか確認するQ&amp;Aのみの問題</li> <li>・英文の部分的な読み取りを問う問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報、概要、要点を読み取る力を評価するテスト</li> </ul> <p>⑥ 英語の授業で、身近なものを調べて発表することになりました。次の英文は、ある生徒が100円ショップについて調べてまとめたものです。これを読んで、発表の始めに話の流れを示すスライドとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>100-yen Shops</b></p> <p>(1) The number of shops (2) History (3) Popular items</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>100-yen Shops</b></p> <p>(1) Popular items (2) Hyakkin in the world (3) The number of shops</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(例) 概要をつかむことができているかを問うテスト</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>100-yen Shops</b></p> <p>(1) The number of shops (2) Hyakkin in the world (3) History</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>100-yen Shop</b></p> <p>(1) Popular items (2) History (3) Hyakkin in the world</p> </div> </div> <p>〔答え〕 4</p>

※問題は、平成31年度、令和5年度全国学力・学習状況調査から引用しています。

### 3 全国学力・学習状況調査の調査結果を活用した授業・テスト改善

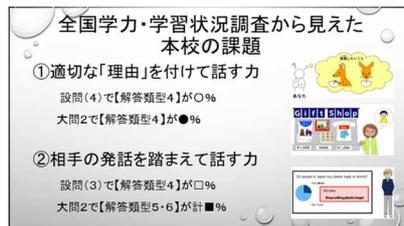
令和5年度テスト改善ハンドブック作成ワーキンググループの先生に聞きました。

「先生の学校では、どのように全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を活用していますか？」

A先生の学校では、



1. 教科会で調査結果を確認したところ、本校では自分の考えを適切な「理由」とともに話すことと、相手の発話を踏まえて話すことに課題があることが見えてきました。



2. まずはCAN-DOリストに立ち戻り、話すこと[発表]の資質・能力を育成するために、3学年で実施していた言語活動とスピーチテストについて振り返りました。すると・・・

	話すこと(発表)
3年	・社会的な話題や日常的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて、留学生・ALT・仲間に話すことができる。

【CAN-DO リスト】(目標)

3年生の話すこと[発表]の学年ごとの目標では、  
・聞いたり読んだりしたことについて  
・理由も含めて述べることで、  
が出来ることを目指していたが・・・

<1学期に行った言語活動例 話すこと[発表]>

- ・海外からの留学生に、オススメの「日本案内プラン」を紹介する。
- ・「Things to do in summer」といったお題に対して2案を作り、紹介する。
- ・ALTの先生に、自分が好きなことや取り組んできたことを紹介する。

【言語活動】(指導)

「読み聞きした内容を踏まえること」「理由を述べること」は、必ずしも求められていなかった。

<3年スピーチテスト> ※事前に準備をしてスピーチを練り上げましょう！

Unit1では、「Sports for everyone」というテーマで学習をしてきました。Unit1で学習した内容について、あなたが知っていることや、あなた自身の考えについて、教科書で学んだことやピクチャーカードも参考にしながら、自由に事実やあなたの考えを述べてください。

【パフォーマンステスト】(評価)

事実や考えを述べるだけで、聞いたり読んだりしたことを踏まえる必要が無く、理由も述べるようになっていなかった。



目標と指導と評価が一致していなかったことに気がきました。



3. 聞いたり読んだりしたことを踏まえ「適切な理由を付けて話すこと  
の力」を伸ばしていくために、

- ・3学年のこの時期に生徒がどのようなことができるようになっていけばよいのか
- ・どのような言語活動を単元や各授業の中心に据えればよいのかを教科会で検討しました。参考にしたのは、以下の文献等です。



報告書の授業アイデア例 P95 に示されている学習過程を大事にしたいね。



参考資料の事例1は、領域は違うけれど、指導と評価の計画については、共通する部分がありそう。



指導の具体なら、文部科学省 mexchannel の、この動画が分かりやすいよ。

※テスト改善、授業改善の具体は、22 ページからの「話すこと[発表]ウ」の「思考・判断・表現」を評価する問題をご覧ください。



- 国立教育政策研究所
- ・教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」(国立教育政策研究所)  
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>
  - ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校編・中学校編)(国立教育政策研究所)  
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouusiryoku.html>
  - ・文部科学省公式 YouTube「mexchannel」 「外国語教育はこう変わる！」シリーズ等  
<https://www.youtube.com/playlist?app=desktop&list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f>

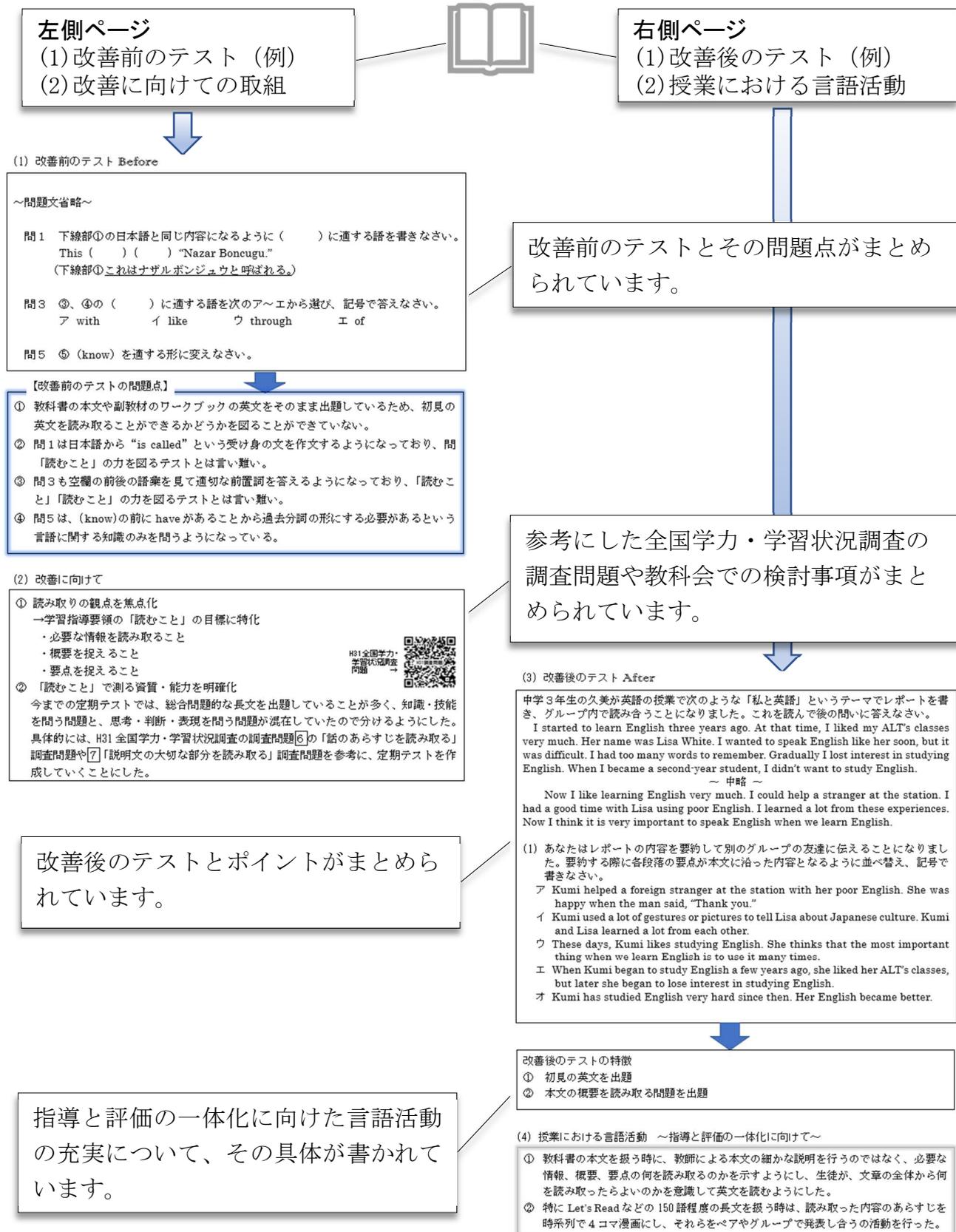
全国学力・学習状況調査の調査問題は、学習指導要領の理念・目標・内容等に基づいて出題されています。

全国学力・学習状況調査の調査問題や調査結果を分析することにより、教師はどのような授業を行えばよいかという方向性を知り、教師の授業改善に生かすことや、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上等につなげることができます。

今回示した過程だけでなく、①調査問題を参考に定期テストを作成→②資質・能力を育成するための授業を実施、といった生かし方等も考えられます。全国学力・学習状況調査を起点に、資質・能力の育成を図っていきましょう。

## 4 実践事例について

領域別「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の実践事例は、以下の構成になっています。



## I 「聞くこと ア」の「思考・判断・表現」を評価するテスト

## (1) 改善前のテスト Before

## (放送問題)

それぞれの絵を見て答える問題です。英語を聞いて、質問の答えとして最も適切なものを、アからエの中から1つずつ選び、記号を書きなさい。

## (スクリプト)

Good morning. It's Thursday, April eleventh. Here's the weather information. It was nice and warm yesterday, but not today. It will be cloudy and cold in the morning, and sometimes rainy in the afternoon. Tomorrow will be sunny but much colder. The weather will be nice on Saturday, so it will be a good day to go outside and enjoy the sun. On Sunday, it will be rainy again.

Question: How will the weather be on Saturday?

ア  イ  ウ  エ 

## 【改善前のテストの問題点】

- ① 「何のために天気予報の聞き取りをするのか」という目的がない。
- ② 天気予報の全体を聞き取ることができなくても “nice”, “Saturday”, “sun”などの単語を聞き取れることができれば解答することができる。

(2) 改善に向けて (全国学力・学習状況調査の問題の活用  と教科会での検討  )

- ① 「日常的な話題」について、聞き手として目的に応じて知りたいことや欲しい情報などの「必要な情報」を聞き取る力を測るテストを作成
- ② H31 全国学力・学習状況調査の調査問題③を参考に作問  
アメリカでホームステイ中のあなたは、天気予報を聞きながらピクニックに行く計画を立てています。ピクニックに行くのに最も適しているのは、何曜日でしょうか。下の1から4までのの中から1つ選びなさい。

(スクリプトは上記の問題と同様)

1 Thursday 2 Friday 3 Saturday 4 Sunday

H31 全国学力・  
学習状況調査  
調査問題 →



- ③ 教科会で検討した普段の授業における言語活動

「店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンス」といったものを教材に取り上げ、必要な情報を聞き取ることができるようにすること。

映画「○○○」には空港でのアナウンスの場面がありましたが、映画の場面から主人公にとって「必要な情報」を予測させるなどしてアナウンスの中から聞き取る活動を行ってみてはどうでしょうか。



### (3) 改善後のテスト After

あなたは日本にホームステイ中のアメリカからの留学生と、町の観光に行く計画を立てるために、天気予報を聞いています。観光をするのに最も適しているのは、何曜日でしょうか。下の1から4までの中から1つ選びなさい。

(スクリプト)

Good morning. It's Friday, January tenth. Here's the weather information. It was cloudy and cold yesterday. It will be snowy this morning, but it will be sunny in the afternoon. The weather will be nice all day on Saturday, so it will be a good day to go outside. On Sunday, it will be snowy again.



改善後のテストの特徴と生徒の姿

- ① コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確化
- ② 特定の単語だけを聞き取るのではなく、放送される文章全体を聞き、目的に応じて「必要な情報」を聞き取ろうとする生徒が増加

### (4) 授業における言語活動 ～指導と評価の一体化に向けて～

自分が置かれた状況などから判断して、どのような情報が「必要な情報」なのか予想する場を設け、その部分に集中して聞き取る活動を行う。

あなたは、海外で農業体験学習に参加しています。  
あなたは2班のリーダーとして、活動について担当者から説明を聞くところです。



What is the situation?



教師

We are at a farm.  
We are going to do activities.

Good. What else?



We are the leaders of Group 2.

上記のように、英語を聞く前に教師と生徒がやり取りをしながら、生徒が自分の置かれた状況などを理解できるようにします。1回目は、どのような語句や表現が使用されるかなどを予想しながら「何を聞き取るのか把握」するために聞きます。

1回目に英語を聞き、Group 2のリーダーとして何を聞かなくてはならないのかを捉えることができれば、2回目は「必要な情報と必要としない情報に分ける」ために聞くなどと、その都度聞き取りの視点を与えることが大切です。

R5全国学力・学習状況調査報告書  
(p30から参照)→



## 2 「聞くこと ア」 の「思考・判断・表現」を評価するテスト

## (1) 改善前のテスト Before

(放送問題)

映画館で4人の中学生が会話をしています。会話の後に Question と言ってから内容についての質問が流れます。その答えとして適切なものをア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

(スクリプト)

A: Now, we can watch Blue Dragon, Space Monkey, Dance, Dance, Sing, and Fly to Chicago. Which one do you want to watch?

B: I think Blue Dragon or Space Monkey are the best. They are the most popular ones these days.

C: Look! They end after three o'clock. We have to take a train at two thirty.

A: Then, how about Dance, Dance, Sing? We can get to the station at two twenty.

D: We have another movie that ends at the same time. My sister said that it was better than Dance, Dance, Sing. Shall we watch that movie?

A, B, C: OK.

Question: Which movie are they going to watch?

ア Blue Dragon イ Space Monkey ウ Dance, Dance, Sing エ Fly to Chicago

## 【改善前のテストの問題点】

- ① リード文に何のために会話を聞くのか、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等が設定されていないため、思考・判断・表現を測る問題になっていない。
- ② 自分にとって必要な情報が分からず、どのような表現に着目すればよいか分からない。

(2) 改善に向けて (全国学力・学習状況調査の問題の活用  と教科会での検討  )

令和5年度全国学力・学習状況調査の問題を参考に、教科会で、目的に応じて必要な情報を聞き取る力を育成するために以下の内容について検討した。

① 「日常的な話題」について、目的に応じて英語を聞き、「必要な情報」を聞き取る力を測る問題について

・R5全国学力・学習状況調査の調査問題2を参考にしながら、リード文に英語を聞く場面、目的を設定し、自分が必要とする情報を聞き取る問題を作成する。テスト改善に向けて、普段の授業における言語活動について、次のような学習過程を意識する。

(1) 目的を理解し、どういった情報が必要であるか考える。

(2) 自分が必要とする情報と関連する語句や表現を予測する。

(3) 自分が必要とする情報と関連する語句や表現に着目して英語を聞き、必要な情報を判断する。

※必要な情報とそうではない情報を判断するために、メモの整理の仕方を指導する。

R5全国学力・  
学習状況調査  
報告書(p26  
からを参照)→



### (3) 改善後のテスト After

(放送問題)  
 アメリカにホームステイ中のあなたは、来週の日曜日の午後にホストファミリーと映画を見に行くことになりました。あなたは、映画館の受付で、現在公開中の4本の映画の上映時間 (screening time) について話を聞いています。話を聞いた後に、あなたがホストファミリーに伝えることとして最も適切なものをア～エから1つ選び記号を書きなさい。

【現在公開中の映画】  
 Blue Dragon    Space Monkey    Dance, Dance, Sing    Fly to Chicago  
 (スクリプト)

You want to watch a movie next Sunday afternoon with your host family, right?  
 OK. Then, you can't choose Space Monkey. It will end this Saturday. Blue Dragon is the movie made in China and is loved by a lot of older people. It is shown in the morning and afternoon, but you can't watch it on Sundays. Dance, Dance, Sing, and Fly to Chicago can be seen next Sunday. You can watch Dance, Dance, Sing, both in the morning and in the afternoon. It starts at 9:00 in the morning and at 2:00 in the afternoon. The other one starts only at 5:50 and finishes at 7:40. So if you can stay late, you can watch it.

※1 スクリプト音声●音読さん→   
 広告をスキップをクリックし、ご試聴ください。

ア We can choose a movie which is loved by a lot of older people.  
 イ We can watch any of the four movies if we go this Sunday.  
 ウ We can watch only Dance, Dance, Sing in the afternoon on Sunday.  
 エ We can choose one movie from two if we can go there any time in the afternoon.



改善後のテストの特徴と生徒の姿

- ① 英語を聞く場面を明確にし、聞く目的を示したこと。(目的：映画館で日曜午後に観られる映画の情報を得るために)
- ② 曜日や時間帯などの、自分が必要とする情報と関連する語句や表現を予測できる問題にしたこと。
- ③ 実際に生徒が聞き取り、メモをした内容の一例

映画のタイトル	Sat		Sun	
	am	pm	am	pm
Dragon	○	○	×	×
Monkey	×	×	×	×
Sing			○ 9:00	○ 2:00
Chicago			×	○ 5:50

←リード文から「日曜日の午後」というワードに注目し、4つの映画が観られる曜日、時間帯を書きとったメモの例。

### (4) 授業における言語活動 ～指導と評価の一体化に向けて～



「聞くこと ア」の力を育成するために授業では以下のポイントを意識して言語活動を行った。

<ol style="list-style-type: none"> <li>① 単元の題材に関連した自作の教材に目的、場面を設定した。</li> <li>② 自分が必要とする情報と関連する語句や表現を予測できるものにした。</li> <li>③ 予測した表現に着目して英語を聞き、必要な情報を判断できるものにした。</li> <li>④ メモの枠があるものから無いものへと段階的にメモの取り方を指導し、必要な情報を書き取れているかを確認した。</li> </ol>	<p>(例) 2年生 Program 5 Work Experience (Sunshine、開隆堂)  <b>(放送問題)</b>                  あなたは留学中のカナダの病院でボランティアに参加することになりました。確認チェックリストを見ながら、電話で担当者と打ち合わせをしています。担当者の話を聞いた後に、あなたが担当者に確認する必要がある内容はどれですか。最も適切なものを下のア～エから1つ選び記号を書きなさい。                  確認チェックリスト  <input type="checkbox"/>持ち物    <input type="checkbox"/>集合時間    <input type="checkbox"/>服装・身だしなみ    <input type="checkbox"/>心構え</p> <p>※2 スクリプト音声●音読さん→                   広告をスキップをクリックし、ご試聴ください。</p> <p>ア About things to bring    イ About time to visit the hospital                  ウ About clothes to wear    エ About things to be careful about</p>
---	--

※1、2 音声は音声読み上げソフト音読さんを使用し作成、授業等で使用した。

## 2 「聞くこと ア」の「思考・判断・表現」を評価するテスト メモの取り方の指導例

本事例では、単元の始めの段階では、①のように聞き取るための枠が設定された学習カードを使用しました。単元の後半に向けて、生徒自身が聞き取りのポイントを意識して聞くことができるように、②のように枠を大まかなものに変えていきました。

①

Class Name

あなたは留学中のカナダの病院でボランティアに参加することになりました。【確認チェックリスト】を見ながら、電話で担当者と打ち合わせをしています。担当者の話を聞いた後に、あなたが担当者に確認する必要がある内容はどれですか。最も適切なものを下のア～エから1つ選び記号を書きなさい。

### 【確認チェックリスト】

持ち物    集合時間    服装・身だしなみ    心構え

ア About things to bring

イ About time visit the hospital

ウ About clothes to wear

エ About things to be careful about

### 【メモ】

確認リスト	持ち物	集合時間	服装・身だしなみ	心構え
予測できる単語				
聞き取れたこと				

### スクリプト

Now, I will tell you some information about your work experience. First, we start the staff meeting at 8:30. So, please come 15 minutes before the meeting. You don't have to bring your lunch. You can try our hospital lunch. You need to bring a drink and something to write with. Lastly, communication is very important. If you have any troubles, please ask our staff. Staff for volunteers are wearing a blue uniform. They will help you with anything. Do you have any questions?

②

Class Name

アメリカにホームステイ中のあなたは、来週の日曜日の午後にホストファミリーと映画を見に行くことになりました。あなたは、映画館の受付で、現在公開中の4本の映画の上映時間 (screening time) について話を聞いています。話を聞いた後に、あなたがホストファミリーに伝えることとして最も適切なものをア～エから1つ選び記号を書きなさい。

【現在公開中の映画】

Blue Dragon      Space Monkey      Dance, Dance, Sing      Fly to Chicago

- ア We can choose a movie which is loved by a lot of older people.
- イ We can watch any of the four movies if we go this Sunday.
- ウ We can watch only Dance, Dance, Sing in the afternoon on Sunday.
- エ We can choose one movie from two if we can go there any time in the afternoon.

【メモ】 (必要に応じて線を書き足してメモに使用しても良い)

予測できる単語	
聞き取れたこと	

スクリプト

You want to watch a movie next Sunday afternoon with your host family, right?  
OK. Then, you can't choose Space Monkey. It will end this Saturday. Blue Dragon is the movie made in China and is loved by a lot of older people. It is shown in the morning and afternoon, but you can't watch it on Sundays. Dance, Dance, Sing, and Fly to Chicago can be seen next Sunday. You can watch Dance, Dance, Sing, both in the morning and in the afternoon. It starts at 9:00 in the morning and at 2:00 in the afternoon. The other one starts only at 5:50 and finishes at 7:40. So if you can stay late, you can watch it.

## 3 「読むこと イ」の「思考・判断・表現」を評価するテスト

## (1) 改善前のテスト Before

～問題文（教科書本文と同じ英文）省略～

問1 下線部①の日本語と同じ内容になるように（ ）に適する語を書きなさい。  
This ( ) ( ) “Nazar Boncugu.”

(下線部①これはナザルボンジュウと呼ばれる。)

問3 ③、④の（ ）に適する語を次のア～エから選び、記号で答えなさい。  
ア with                      イ like                      ウ through                      エ of

問5 ⑤ (know) を適する形に変えなさい。

## 【改善前のテストの問題点】

- ① 教科書の本文や副教材のワークブックの英文をそのまま出題しているため、初見の英文を読み取ることができるかどうかを図ることができていない。
- ② 問1は日本語から“is called”という受け身の文を作文するようになっており、「読むこと」の力を図るテストとは言い難い。
- ③ 問3も空欄の前後の語彙を見て適切な前置詞を答えるようになっており、「読むこと」の力を評価するテストとは言い難い。
- ④ 問5は、動詞 know を正しく語形変化する問題となっており、「読むこと」の力を評価する問題ではない。

(2) 改善に向けて（全国学力・学習状況調査の問題の活用  と教科会での検討  ）

- ① 学習指導要領「読むこと」の目標を基に作問する
  - ・ 必要な情報を読み取ること
  - ・ 概要を捉えること
  - ・ 要点を捉えること

## ② 「読むこと イ」で測る資質・能力を明確化

今までの定期テストでは、総合問題的な長文を出題していることが多く、「知識・技能」を問う問題と、「思考・判断・表現」を問う問題の違いを明確にして作問をしていなかった。そこで、「読むこと イ」について、H31 全国学力・学習状況調査の調査問題⑥の「話のあらすじを読み取る」調査問題を参考に、定期テストを作成した。

H31 全国学力・  
学習状況調査  
調査問題 →



### (3) 改善後のテスト After

中学3年生の久美が英語の授業で次のような「私と英語」というテーマでレポートを書き、グループ内で読み合うことになりました。これを読んで後の問いに答えなさい。

I started to learn English three years ago. At that time, I liked my ALT's classes very much. Her name was Lisa White. I wanted to speak English like her soon, but it was difficult. I had too many words to remember. Gradually I lost interest in studying English. When I became a second-year student, I didn't want to study English.

～ 中略 ～

Now I like learning English very much. I could help a foreign tourist at the station. I had a good time with Lisa using English. I learned a lot from these experiences. Now I think it is very important to speak English when we learn English.

- (1) あなたはレポートの内容を要約して別のグループの友達に伝えることになりました。要約する際に各段落の要点が本文に沿った内容となるように並べ替え、記号で書きなさい。
- ア Kumi helped a foreign tourist at the station with English. She was happy when the man said, "Thank you."
  - イ Kumi used a lot of gestures or pictures to tell Lisa about Japanese culture. Kumi and Lisa learned a lot from each other.
  - ウ These days, Kumi likes studying English. She thinks that the most important thing when we learn English is to use it many times.
  - エ When Kumi began to study English a few years ago, she liked her ALT's classes, but later she began to lose interest in studying English.
  - オ Kumi has studied English very hard since then. Her English became better.



#### 改善後のテストの特徴

- ① 初見の英文を出題
- ② 本文の概要を読み取る問題を出題

### (4) 授業における言語活動 ～指導と評価の一体化に向けて～

- ① 生徒が文章を読む目的を把握できるようにした。教科書の本文を扱う時に、教師による本文の細かな説明を行うのではなく、必要な情報、概要、要点の何を読み取るのかを示すようにし、生徒が、文章の全体から何を読み取ったらよいのかを意識して英文を読むようにした。
- ② 文章を読み、各段落の主な内容を捉え、段落間の関係を把握した。例えば、Let's Readなどの150語程度の長文を扱う時は、読み取った内容のあらすじを時系列で4コマ漫画にし、それらをペアやグループで発表し合う活動を行った。

## 4 「読むこと イ」の「思考・判断・表現」を評価するテスト

## (1) 改善前のテスト Before

次の英文は、家族とアメリカに引っ越し、新生活を始めたマコトさん(Makoto)と、彼の近所に住むエマさん(Emma)の話です。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

～英文省略～

(1) ( ) に当てはまる英語 1 語を、次のア～エから 1 つ選んで記号を書きなさい。

ア report                      イ book                      ウ diary                      エ music

(2) 本文の内容と合っているものを、次のア～オからすべて選んで記号を書きなさい。

ア Makoto sometimes wrote a blog in English to improve his English.

イ Makoto isn't happy to know that Emma likes to play the piano.

ウ Makoto learned about Emma's hobbies at her birthday party.

エ Emma sang many songs in front of guests at her birthday party.

(3) 次の英文は、マコトさんのブログの一部です。本文の内容に合うように、①～③に入る適切な英語を書きなさい。ただし、1 語でなくてもよい。

I visited Emma's house for her birthday party. I made a lot of new friends there. We talked about many things and ( ① ) lunch together. After that, we did karaoke. I was really ( ② ) to hear Emma's singing because she sang very well. I ( ③ ) with her again.

## 【改善前のテストの問題点】

- ① (1) は、単語の知識があれば答えることができるため、読むことの資質・能力を評価する問題になっていないこと。
- ② (2) は、選択肢の英文および本文中の英文を正確に読めるかどうかを問われている知識・技能を評価する問題であり、思考・判断・表現を評価する問題になっていないこと。
- ③ (3) は、特定の英文のみを読めば答えられる問題であり、文章全体を読んでその概要を捉える問題になっていないこと。

(2) 改善に向けて（全国学力・学習状況調査の問題の活用  とチームでの検討  ）

令和 5 年度全国学力・学習状況調査の調査問題を参考に、生徒が英文を読んで概要を捉える力を育成すべく、以下の内容について教科会で検討した。

- ① R5 全国学力・学習状況調査の 7(2) の問題を参考に、概要を捉える力を測る問題を作成  
改善前のテストは、単語の知識があれば答えることができる問題や、英文の特定部分を読めば解答できる問題となっていた。そこで、学力調査の調査問題を参考に、文と文の関係や段落と段落の関係を捉えながら、英文の概要（文章全体の大まかな内容）を捉える力を測る問題を作成した。
- ② 英文の概要を捉える力をつけるための単元構想  
簡単な語句で書かれた短い英文を読み、概要を捉える力を育む単元を実施した。
- ③ 教科会で検討した普段の授業における言語活動  
文章全体を読んだ上で、グループで意見交換をしながら、意見交換をしながら、段落ごとの話題と主な内容や、書き手が最も伝えたい内容などを捉えたいうえで、大まかな内容など捉える活動を行った。

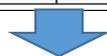
### (3) 改善後のテスト After

ハジメさんたちは、自分たちの地域のコミュニティーセンターについて ALT に紹介している。次の英文は、ハジメさんの発表である。

～英文省略～

(1) ハジメさんが発表の冒頭に大まかな内容をスライドで示した。ハジメさんが示したスライドとして適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

<p>1</p> <p><b>Community centers today</b></p> <p>①Various activities — sports, art, crafts, cooking, dance</p> <p>②Various Spaces — gym, creative room, lounge area — small rooms for personal things</p> <p>③Connect people — Through lessons, Talk each other</p>	<p>2</p> <p><b>Community centers today</b></p> <p>①Various activities — sports, art, crafts, cooking, dance</p> <p>②Relaxation — lounge area, small rooms</p> <p>③Multipurpose rooms — the painting rooms for adults — the gym for children</p>
<p>3</p> <p><b>Community centers today</b></p> <p>①Various lessons or classes — sports, art, crafts lessons — cooking, dancing classes</p> <p>②Various Spaces — gym, creative room, lounge — small rooms for personal things</p> <p>③Parents can talk each other — While their kids are playing</p>	<p>4</p> <p><b>Community centers today</b></p> <p>①Various activities and spaces — classes and lessons — gym, creative room, lounge area</p> <p>②Various services — learn techniques by e-mails — take care of children</p> <p>③Parents can talk each other — While their kids are playing</p>



- ① 英文の特定の部分のみを読めば答えられる問題ではなく、英文全体を読み、概要を捉える力を問う問題を作成した。
- ② 英文の発表に使用したスライドとして適切なものを選ぶ問題を作成し、段落ごとの大まかな内容を過不足なく含むものを、英文全体の概要を適切に捉えたものと考え、正答とした。
- ③ 授業改善後、改善した問題の正答率  
24.4% (学力調査問7(2) (4月実施) の正答率) →39.1%(改善後のテスト実施結果)に向上  
「初めて読む文は段落ごとに大まかな内容を捉えてから細かく読み進めることで、より概要を捉える力が付きました。」  
(単元終了後、改善後のテストに解答した生徒の感想より抜粋)

### (4) 授業における言語活動 ～指導と評価の一体化に向けて～



英文の概要を捉える力を育成すべく、全国学力・学習状況調査の「報告書」にある授業アイデア例を参考に、授業では以下のような言語活動を行った。

- ・ 文章全体を読んだ上で、グループで意見交換をしながら、段落ごとの概要や要点を捉えて、時系列や内容ごとに情報を整理する活動を行った。
- ・ 捉えた段落ごとの要点や概要などを踏まえて、内容のまとまりごとに分け、それぞれのまとまりに英語の小タイトルをつける活動を行った。



#### 4 「読むこと イ」の「思考・判断・表現」を評価するテスト 学習カード例

##### 【言語活動でを使用した学習カード①】

各段落の主な内容を捉えよう。★文と文の関係

段落	各段落の <u>主な内容</u> を示している英文を抜き出そう
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

##### 【言語活動でを使用した学習カード②】

形式段落①～⑦を、内容のまとまりごと（意味段落）に分けよう。★段落と段落の関係

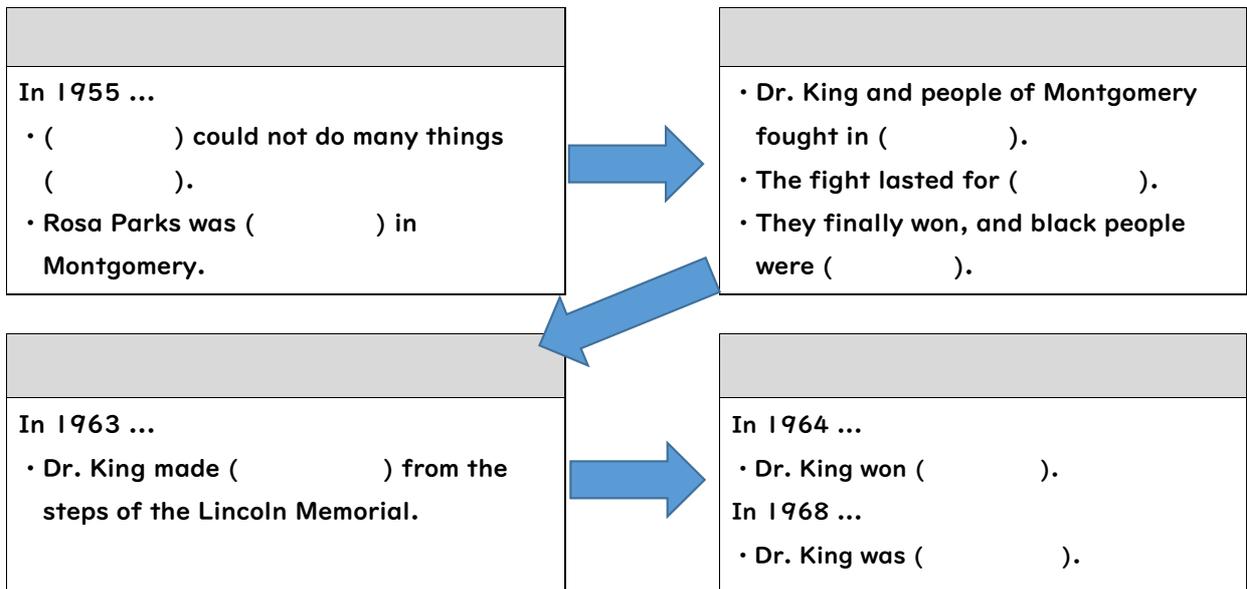
※①～⑦には、各形式段落のはじめの数語が入っている。

形式段落	意味段落（まとまりの数も話し合って決めよう）
① In 1955, ~	
② These unfair law~	
③ Dr. King~	
④ In 1963, ~	
⑤ I have a dream that~	
⑥ I have a dream that~	
⑦ In 1964, ~	

##### 【言語活動でを使用した学習カード③】

物語の概要を図にまとめよう。

※生徒は各意味段落の見出しをグレーの部分に記入するとともに、英文内の( )に適する語を記入する。



5 「話すこと [やり取り] イ」の「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価するテスト

(1) 改善前のテスト Before

<p>2年生対象のスピーキングテスト問題と採点基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Were you (busy / tired / sad / happy ) yesterday?</li> <li>• What were you doing at 6:00 this morning?</li> <li>• What did you do last night?</li> <li>• What are you going to do next Sunday / Saturday?</li> </ul> <p>(以下略、教師と1対1による面接方式で実施)</p>	<p>【採点基準】</p> <p>3点…文法的に正しく内容が適切</p> <p>2点…誤りはあるが内容が伝わる場合</p> <p>1点…内容が伝わらない場合</p>
---	--



【改善前のテストの問題点】

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況等がなく、一問一答形式であること
- 内容よりも「正確さ」に焦点をおいた評価になっていること



(2) 改善に向けて（教科会での検討）

① 「学年ごとの目標」(CAN-DO リスト)を共有し、教師も生徒も目指す姿を明確にする。

「2年生の目標」(話すこと [やり取り]) (CAN-DO リスト)

自分の考えを述べたり、質問をしたりして会話を継続・発展させることができる。

【目指す姿が実現している[やり取り]】

(例) A: (前略) I think AI is great. Yesterday I read the article about an AI fridge. It said the fridge tells us what we can cook with foods in it. What do you think about AI?

B: I agree with you. Our textbook says AI makes our lives better. Do you want AI at home?

A: Yes. I want an AI cleaner. There are a lot of useful AI products that can help us. (後略)

② パフォーマンステストにおいて、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を提示する。

③ 普段の授業における言語活動等を教科会で検討

→ 帯活動として Small Talk を位置付けること、単元終末にだけ言語活動を設定するのではなく、1時間目から授業の中心が「話すこと[やり取り]」の言語活動となるように単元を計画する。

### (3) 改善後のテスト After

パフォーマンステストの例（2年生○学期末）

#### ① 実施方法

- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況等が書かれたカードを提示する
- ・教師と2分程度のやり取りを行う

#### ② カードに提示したコミュニケーションを行う目的や場面、状況

互いの新たな一面を知るために、次の冬休みの予定について、自分のことを話したり、あなたから質問したりして2分間やり取りを続けましょう。

#### ③ 話すこと [やり取り] の採点基準の例 ※CはBの基準に満たないもの

	知識・技能	思考・判断・表現
A	誤りのない正しい英文で話している。	自分の考えを述べたり、質問したりすることを繰り返して、会話を続けている。
B	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話している。	自分の考えを述べたり、質問したりして、会話を続けている。



改善後の生徒の姿（例）※生徒の発話は原文のまま

T: [カードを提示] What do you want to do during winter vacation?

S: I want to do ski.

T: Oh, you want to ski.

S: Ski and board... ski board... And snowman, make a snowman.

T: Oh, you want to make a snowman. Nice. I know you are a skier. Do you snowboard?

S: Yes. Snowboard! Ah, snowboard is... is ... hobby! Hobby! Yes, Hobby. How about you?

T: I want to ski, and I want to watch TV.

S: Do you like TV channel?

T: Yes. My favorite TV program is *Hakone-Ekiden*.

S: *Hakone-Ekiden*!? [興味がある話題のため、身を乗り出して] I like... I like *Hakone-Ekiden*. (以下略)

#### 【評価の実際】

- ① 生徒の発話に誤りはあるが、コミュニケーションに支障がない程度であるので、「知識・技能」はB評価とした。
- ② 自分の考えを述べたり、相手に質問をしたりすることを繰り返していたので「思考・判断・表現」はA評価とした。

### (4) 授業における言語活動 ～指導と評価の一体化に向けて～ 帯活動展開案→



- ① 授業の開始の10分を使って、継続的に Small Talk を行った。
- ② 話題は、その時期の旬の話題や「帯活動展開案（文部科学省）」から選んだ。
- ③ Interactive Teacher Talk（教師が生徒を巻き込みながらやり取りをすること）で話題に興味・関心をもてるようにした。
- ④ 「中間指導」では、言いたかったけど言えなかった表現の確認や Unit Goal や Today's Goal に沿ってやり取りを行っていたペアを全体に紹介し、会話を継続・発展させるための視点を共有した後、2回目のやり取りにつなげるようにした。

## 6 「話すこと[発表] ウ」の「思考・判断・表現」を評価するテスト

## (1) 改善前のテスト Before

3年生の6月には、以下のようなパフォーマンステストを実施していた。

<3年スピーチテスト> ※生徒配付用  
※事前に準備をしてスピーチを練り上げましょう！

Unit 1では、“Sports for Everyone”というテーマで学習をしてきました。Unit 1で学習した内容について、あなたが知っていることや、あなた自身の考えについて、教科書で学んだことやピクチャーカードも参考にしながら、自由に事実やあなたの考えを述べて下さい。

## &lt;採点基準&gt;

## II. 思考・判断・表現（1～4）

- 4：8文程度のまとまりのある構成で、事実や自分の考えを相手意識・目的意識をもって工夫をしながら述べている。  
3：6文以上の概ねまとまりのある構成で、事実や自分の考えが明確に伝わる。  
2：3文以上で、部分的ではあるが、まとまりのある内容が述べられている。  
1：発話にまとまりが全くまたはほとんどない。

## 【改善前のテストの問題点】

- ① 本校3学年の学年ごとの目標（CAN-DO リスト）は、「社会的な話題や日常的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて、留学生・ALT・仲間に話すことができる。」だったが、読んだことを踏まえたり理由を述べたりする必要のないテストになっていた。また、採点基準も学年ごとの目標と一致していなかった。
- ② 話すことの指導は帯活動で行っていたが、与えられたテーマに対して自由に話す形の言語活動が多く、「読んだことを踏まえて、考えとその理由を述べる」力を育成できていなかった。
- ③ コミュニケーションを行う目的や場面、状況等の設定がなかった。

(2) 改善に向けて（全国学力・学習状況調査の問題の活用  と教科会によるチームでの検討  ）

R5全国学力・学習状況調査の調査問題②における本校生徒の実態（解答類型4（理由を伝えなかった）や解答類型5（生徒や話し手の意見に触れなかった）の生徒が多い）も踏まえ、「読んだことを踏まえて、考えとその理由を述べる」力を育成すべく、教科会において指導と評価の計画を見直した。

- ① R5全国学力・学習状況調査の報告書 p.95-96 を参考に単元を構想。

→コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を設定し、生徒が、書き手の考えを捉えた上で自分の考えとその理由を述べるようにする。

R5全国学力・  
学習状況調査  
報告書 →



- ② 11月のパフォーマンステストで、読んだことから把握した内容に基づき、自分の考えとその理由を述べるテストの実施。

→9～11月に複数単元を通して、帯活動で「初見の文章を読み、読んだことを踏まえて自分の考えとその理由を述べる言語活動」を行う。（2ヵ月間で計15回実施）

※『指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料 p.48 参照』

「指導と評価の  
一体化」のため  
の学習評価に  
関する参考  
資料 中学校  
外国語→



- ③ パフォーマンステストの採点基準を再検討。

### (3) 改善後のテスト After

3年の11月に、以下のパフォーマンステストを実施した。

2学期には、100語程度の英文を読んで、その内容を踏まえて、自分の考えや理由を述べる活動を行ってきました。今回のスピーチテストにおいても、100語程度の英文を1分30秒で読んだ後、1分間のスピーチをしてもらいます。(※スピーチをタブレットで動画撮影をし、Google Classroomを通して提出してもらいます)

生徒が読んだ英文は、

以下は「松本市は住みやすい都市か？」というテーマで書かれた新聞の投書です。ALTのJames先生が次の英文を読み、“Do you agree with the writer?”と尋ねてきました。英文を読み、James先生の問いに対するあなたの考えとその理由を、動画で撮影してJames先生に伝えてください。

Some people think Matsumoto is a difficult place to live. There are some reasons for this.

First, Matsumoto is far from big cities, so it's harder to find some chances and the things we need. Also, it's not easy for people who need to travel often.

Second, winter can be tough with cold and snowy weather. This makes life harder for everyone.

Lastly, there may be fewer jobs in Matsumoto than in larger cities. It can be a problem for people looking for work.

In conclusion, though Matsumoto has its own nice things, being far from big cities, having tough winters, and having fewer jobs can make it a little tough for some people. (114 words)

<採点の基準>

II. 思考・判断・表現 (A~C)

A: 投書の内容を踏まえて、自分の考えとその理由を、英文を引用したり例を挙げたりするなどして、詳しく話している。

B: 投書の内容を踏まえて、自分の考えとその理由を、概ね伝わるように話している。

C: Bを満たしていない。



改善後のテストの特徴と生徒の姿

- ① 学年ごとの目標の内容に沿って採点の基準を作り、単元当初(9月)に生徒と共有した。
- ② 言語活動(帯活動等)での学びが生かせるテストとした。(構成・表現に共通点がある)
- ③ コミュニケーションを行う目的や場面、状況を設定することで、読んだことの何について述べるのかを明確にした。

[生徒の発話例①] ※原文のまま(点線部…読んだことに言及 二重線…考え 波線部…考えの理由)

It says some people think Matsumoto is a difficult place to live. But I think Matsumoto is a nice city to live. It says Matsumoto is far from big cities, but Matsumoto has very long history. For example, Matsumoto Castle, Ame-Ichi, and so on. And Matsumoto has many big station, and many nice town. So, if you live Matsumoto, you can live very nice. And if you live Matsumoto, you can enjoy learning Matsumoto history and enjoy Matsumoto buildings and so on

★評価: 引用した投書の内容を自分の考えと対比して示した上で、具体例として歴史を感じる場所や行事を示したり、住みやすさという異なる視点からも考えを述べていたりしているので、思考・判断・表現はA評価とした。

[生徒の発話例②] ※原文のまま(点線部…読んだことに言及 二重線…考え 波線部…考えの理由)

I think Matsumoto is difficult... According to this paper, this sentence, Matsumoto is difficult place to live, but I don't think so. Matsumoto is many good points. Matsumoto has many good place. I think Matsumoto is very nice points, place, many place.

★評価: 投書の内容に言及した上で、自身の考えとその理由を述べているので、思考・判断・表現はB評価とした。

(4) 授業における言語活動 ～指導と評価の一体化に向けて～



左ページ(2)①の言語活動を帯活動として計 15 回行い、以下の工夫をした。

手順：100 語程度の英文を 1 分 30 秒で読む → 書き手の考えを 4 つの選択肢から選んだり、本文に線を引いたりして捉える → それに対する自分の考えとその理由を 1 分間で述べる

- ・二項対立的な内容で、書き手の考えが含まれている文章を作成した（作成には AI チャットサービスを活用した）。また、賛否どちらの立場に立っても意見が述べやすい題材となるよう配慮した。
- ・読んだことを踏まえた考えや、その考えと内容的につながる理由を、詳しく述べるために必要なこと（引用・言及する表現や構成面での工夫など）を書きためるワークシートを用意し、書いた内容を共有する機会を設けた。また、文章構成や用いられる表現が統一できるように留意した。
- ・単元開始時に、目指す姿を生徒と共有し、つける力（パフォーマンステストにおける採点基準）を明確にした。
- ・端末を用いて自分の発話を動画で記録し、内容面と言語面から改善や修正を促した。

## 7 「書くこと イ」の3観点を評価するテスト

## (1) 改善前のテスト Before

2学期に頑張りたいことを、will を使った4語以上の英文で書きなさい。

## 【改善前のテストの問題点】

- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況等がないことから、生徒が読み手を意識して書くという相手意識をもつことができないこと。
- ・will を使うことが条件付けられていることから、生徒が既習表現（例：I'm going to ～. や My dream is ～. など）を使いたいと思っても、表現することができなくなってしまうこと。

(2) 改善に向けて（全国学力・学習状況調査の問題の活用  と教科会での検討  ）

## ① 育成する資質・能力の明確化

→中学校学習指導要領における「書くこと」の「イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。」に焦点を当てた指導と評価を実施

## ② 「コミュニケーションを行う目的や場面・状況等」の設定

→読み手を意識して「何のために」書くのかを意識した問題の作成

## ③ 「採点基準」の検討 ※CはBの基準に満たないもの

→知識・技能 A：コミュニケーションに支障をきたす誤りがない。

B：コミュニケーションに支障をきたす誤りが多少ある。

→思考・判断・表現

A：伝えたいことや情報が含まれており、接続詞等を効果的に用いながら内容的にまとまりのある文章を書いている。

B：伝えたいことや情報が含まれており、内容的にまとまりのある文章を書いている。

→主体的に学習に取り組む態度

A：伝えたいことや情報が含まれており、接続詞等を効果的に用いながら内容的にまとまりのある文章を書こうとしている。

B：伝えたいことや情報が含まれており、内容的にまとまりのある文章を書こうとしている。

## ④ 普段の授業における言語活動等を教科会で検討

メールや手紙、日記、レポートなどの形式により、事実や自分の考え、気持ちなどを書くことを普段の授業で実践

### (3) 改善後のテスト After

日本に来たばかりの ALT のブラウン先生からメールが届き、あなたはブラウン先生に返信することになりました。メールを読み、ブラウン先生に共感してもらえるように返信メールを英語で書きなさい。

My friend in Canada, Tom, will come to Nagano next year. He sent me an e-mail yesterday. He wants to know when to visit Nagano and how to enjoy his stay. I want to hear your ideas about it, and I will tell Tom some of them as he prepares for his trip. So please tell me your ideas.



#### 改善後のテストの特徴と生徒の姿（例）

① コミュニケーションを行う目的や場面、状況等が設定されていること

目的 ブラウン先生に共感してもらえるように

場面 メールで返信

状況 ブラウン先生に

② テストで見られた生徒の姿

→I think winter is the best season to come to Nagano. Why? If you come to Nagano in winter, you can eat hot pot and play a snowball fight. And if you can ski, there are a lot of nice skiing grounds in Nagano. So, you should enjoy winter in Nagano!

ALT のブラウン先生が授業で生徒に問いかけた内容に対しての返答となっている。  
→「読んだことについて書く」といった領域統合になっている。

### (4) 授業における言語活動 ～指導と評価の一体化に向けて～

授業における「書くこと」の言語活動の工夫

1 海外滞在中の ALT からの e-mail を読む。

(滞在中の国で、社会で活躍するロボットを見たという内容)

2 単元の目標を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にする。

「ペッパーに興味がある ALT に、ロボットがいる生活について自分の考えを書こう」

3 ALT に対して、テーマに関する自分の意見を伝えるためにまとまりのある文章を書く。

4 書いた文章を、友と読み合い、内容面と言語面から自分の文章を構成し直す。

8 「書くこと ウ」の「思考・判断・表現」を評価するテスト

(1) 改善前のテスト Before

アルピー先生(ALT)が以下の“Should We Learn Another Language?”の記事を読んでいる。生徒の皆さんにも記事を読んで、記事の内容についての考えを述べてほしいと思っています。以下の記事を読み、アルピー先生が納得するように、記事の内容に対しての自分の考えを理由も含めて英語で書きなさい。その際、語数や文の数は問いませんが、アルピー先生が納得するように書いてください。

Should We Learn Another Language?

There are many ideas of learning another language.

- Many researchers believe that knowledge of another language can increase our brain power.
- If we use more than one language, we can choose from a wider variety of jobs.
- If we use more than one language, we can enjoy communicating with many people.
- There are useful items to translate languages, for example, “Google Translate” or “Deep L”

【改善前のテストの問題点】

- ①教科書の文章をほとんどそのまま使用しており、内容が想起できてしまうため、テスト解答時に要点を捉える必要がないこと。
- ②出題されている文章自体に、筆者の考えを表す要点が含まれていないこと。

(2) 改善に向けて（全国学力・学習状況調査の問題の活用  と教科会での検討  ）

R5 全国学力・学習状況調査の調査問題を参考に、生徒が短い文章の要点を捉え、それに対する自分の考えとその理由を書く資質・能力を育成すべく教科会で以下の内容について検討した。

- ① 初見の文章の要点を捉え、自分の考えを書く資質・能力を測るテスト及び単元計画を作成
  - ・教科書と同じような話題・テキストタイプ・表現で書かれた文章を初見で読み、要点を捉えた上で自分の考えを書く資質・能力を測るテストを作成し単元を通してこの力の育成を図った。
  - ・教科書本文の文章だけでなく、教科書本文の話題に沿った要点を含んでいる文章を作成し、単元を通して、要点を捉え、自分の考えを書く活動を繰り返し行った。

② R5 全国学力・学習状況調査の 8 (2) を参考に作問

③ 授業における言語活動

以下の言語活動に継続して取り組んだ。

R5 全国学力・  
学習状況調査  
調査問題→



読むこと の主な 言語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯活動で 100～150 語の文章の要点を捉える活動を継続して行う。</li> <li>・教科書本文を読み、要点を捉える際には、“What is the poster about?” や “What is the main point of his speech?” などのような発問をし、生徒は共有のスプレッドシートに回答を入力する。その後、最初や最後の段落などの要点が書かれる位置や、“In my opinion” や “So”、“In short” などの表現に着目して、自分が要点だと捉えたことについて、ペアや全体で理由とともに英語でやり取りをする。</li> </ul>
書くこと の主な 言語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで要点を捉えた後、賛成・反対の立場を明確にし、読み手に共感してもらえるように自分の考えを共有のドキュメントに書く。その後、最も共感した友の考えについてなど、ペアや全体で理由とともに英語でやり取りをする。その際、①要点を捉えた上で、自分の考えを述べているか、②理由（経験や知識、データなどの根拠を示しながら）を書いているかを観点とする。</li> <li>・中間指導では、「内容面（上記の①と②のポイントが含まれているかどうか）」と「言語面」から指導する。</li> </ul>

### (3) 改善後のテスト After

あなたは、アルピー先生から送られてきたメールに対し、自分の考えを返信することになりました。賛成または反対など、あなたの立場を明確にしながら、アルピー先生に共感してもらえるように、あなたの考えを書きなさい。

#### メール

Hi, everyone! Thank you for telling me about your ideas about Gandhi. I am interested in historical people. My favorite historical person is Martin Luther King Jr. In my opinion, he is the greatest person in the world. I have some reasons. So, today I want to tell you about my favorite historical person, Dr. King.

～中略～

In short, Dr. King is a peaceful and brave person because he got black people's rights without violence. Also, he got the Nobel Peace Prize. Therefore, in my opinion, he is the greatest person in the world. I respect him greatly. Do you agree with my idea?



#### 改善後のテストの特徴と生徒の姿

- ① 要点の捉え方を生かしながら読むことのできる教科書とトピック・テキストタイプ・英語表現の観点で類似している初見の文章を出題したこと。
- ② 読んだことについて要点を捉えた上で、自分の考えを書く問題を出題したこと。

#### 採点の基準

- ・条件：(a) 自分の考えとその理由を述べている
- (b) 引用したり、内容に言及したりしている

評価	
A	経験や知識、データなどの信頼性のある「根拠」を示して理由を述べながら、上記の2つの条件を満たしている。
B	上記の2つの条件を満たしている。
C	Bに満たない。

<実際の生徒の解答（原文ママ）>

・ I agree with your idea. I think that Dr. King is the greatest person because he decided to lead a movement to fight for black people's rights. It is very difficult for black people, but he did his best. His movement made them strong. So, I think Dr. King is the greatest person. (A評価)

→ “His movement made them strong.”は、考えを支持する根拠として本文より引用しているため、経験や知識、データなどの信頼性のある根拠を示していると判断しA評価とした。

・ I disagree with your opinion. Certainly, Dr. King is a great person, but I think there are some people who are as great as Dr. King. So, I think Dr. King is one of greatest person. (B評価)

→ “I think there are some people who are as great as Dr. King.”は、具体が述べられておらず、明確に「根拠」を示している理由とは判断できなかったが、考えとその理由が述べられているためB評価とした。

・ I agree with your idea. I also think that he is the greatest person in the world. (C評価)

→ “I think that he is a peaceful and brave person.”という自分の考えに対しての理由が書かれていないため、2つの条件を満たしていないと判断した。従って、C評価とした。

(4) 授業における言語活動 ～指導と評価の一体化に向けて～



言語活動①	書き手の考えに対して、自分の考えを書く言語活動を位置付ける。生徒に、“What should you do first?” と問い、要点（書き手の考え）を理解する必要があることに気付くように促す。賛成・反対の立場を決め、読み手に共感してもらえるように自分の考えを書く。
中間指導	スプレッドシートを活用し、ペア・全体で互いの考えを共有する。 読み手に共感してもらうために、自分の考えを <b>内容面</b> 、 <b>言語面</b> から検討する。 <b>内容面</b> … “Why do you agree with ○○’s idea?” や “Do you think so, too?” 等と問いながら、「自分が知っていることや経験を付け足すと相手に共感してもらえるかもしれない」や「読んだ文章の内容を使って（引用して）、自分の考えの理由にすると共感してもらえるかもしれない」、「反対する時には、賛成側の例外を書く」と共感してもらえるかもしれない、「反対する時も、全否定せず、賛成側の気持ちも理解できるということを含めること（譲歩）もよさそう。」などの気付きを全体で共有する。 <b>言語面</b> … 書くことができなかった表現の仕方を共有するとともに、“agree with” や “disagree with” の表現を活用し立場を明らかにしたり、“So”や“In short”、“In my opinion”などの表現を活用し、まとまった文章で自分の考えを書いたりする方法を確認する。また、“According to ~”や“~ said, ○○.”のように読んだ文章を引用する方法についても確認する。
言語活動②	中間指導の内容を踏まえて、より説得力のある文章となるよう、内容面・言語面から再考する。
言語活動③	ペアで自分の考えを互いに伝え合う。
振り返り	他者の考えに賛成・反対しながら自分の考えを述べる際に大切なことを振り返る。

<言語活動例 1>

マイクの発表（教科書本文）を聞いて、みどりが、ガンディーに対して、以下のような考えをもちました。そのみどりの考えに対して、あなたは賛成または反対などの立場を明確にしながら、あなたのガンディーに対しての考えを、読み手に共感してもらえるように、25 語以上で書きなさい。

<みどりの考え>

In my opinion, Gandhi is the greatest person in the world. Mike said that his birthday is now an Indian national holiday. Also, his image is printed on all Indian rupee notes. I didn't know other people like Gandhi. So, I think Gandhi is the greatest person in the world. This is my opinion.

<言語活動例 2>

マイクとみどりの会話（教科書本文）を聞いて、たくみが以下のような考えをもちました。そのたくみの考えに対して、あなたは賛成または反対などの立場を明確にしながら、あなたの考えに読み手が共感するように、25 語以上で書きなさい。

<たくみの考え>

Mike and Midori said that Gandhi has influenced a lot of people in the world like Dr. King. He never used violence to protest black people's rights. For example, he tried fasts and the non-violent march called “the Salt March” when he protested. Fasting is very hard for me, but he did it for Indian independence. I think that non-violence protection is very important. So, fasting is one of the best ways to make a peaceful world.